

都市公園制度制定150周年記念

未来の“みどり”をどう描き、
実現していくか

令和5年10月27日

全国都市公園整備促進協議会会長

船橋市長 松戸徹



都市公園制度制定150周年
150TH ANNIVERSARY

1. はじめに
2. 都市におけるみどりの多様な機能や効果
3. 都市公園に求められるさらなる役割と取り組み
4. 船橋市の取り組み

『全国都市公園整備促進協議会』とは

○都市における公園緑地を整備し、都市環境の改善と充実に熱意ある都道府県及び市町村によって組織

- ・ 全国約400の地方公共団体が参画
- ・ 会長 船橋市長 松戸 徹

○都市公園等の整備促進に係る提言、国等への要望、公園緑地整備を図るための具体的方策を推進



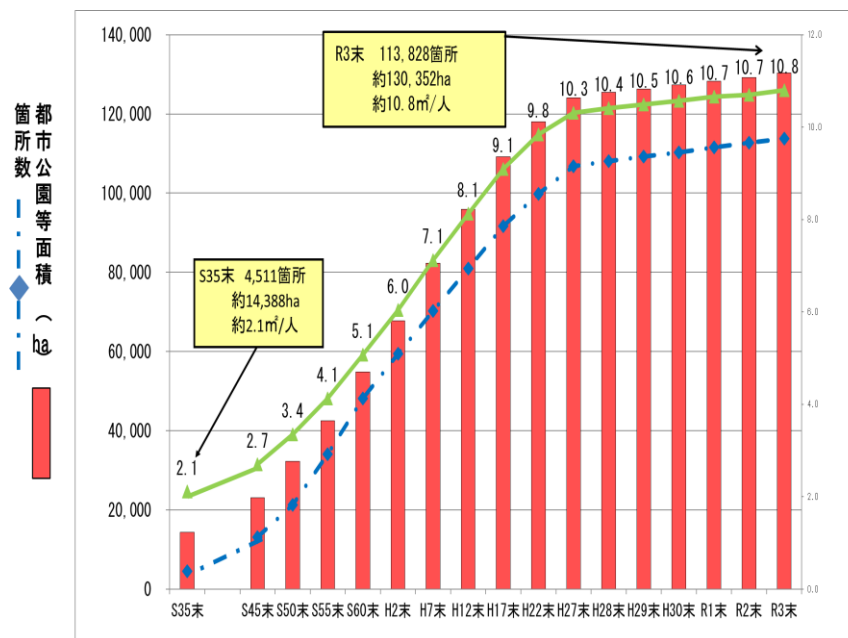
全国都市公園整備促進協議会総会



全国都市公園整備促進協議会要望
(国土交通省)

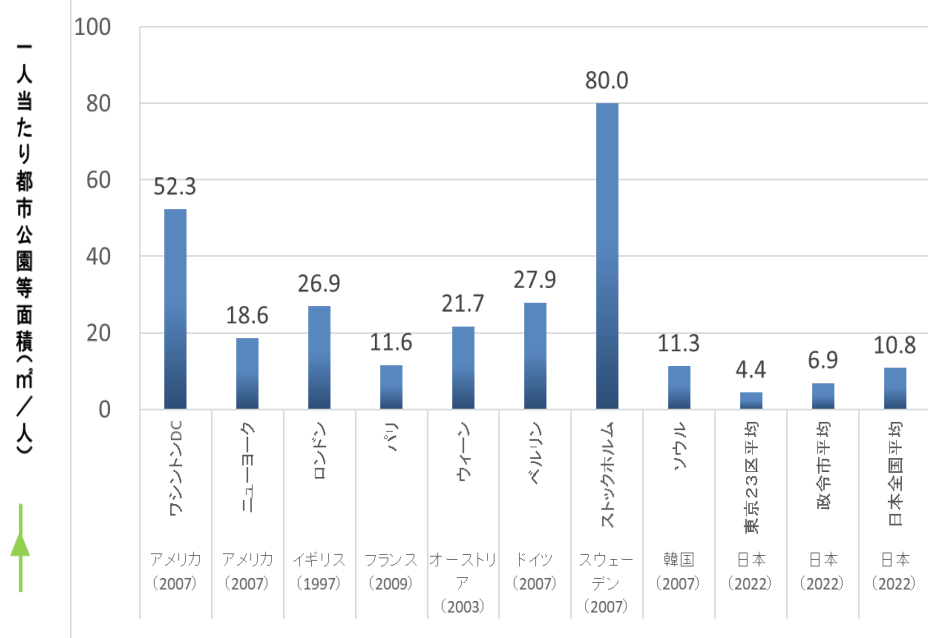
都市公園の現況①

- 全国の都市公園等の整備は、約11万箇所、13.0万haまで進展。
- 一人当たり公園面積も平均では10㎡を超過。しかしながら、都市ごとではバラツキが存在。(また、諸外国の主要都市と比べると依然低い状況。)



全国の都市公園等の整備推移
(面積・箇所数・一人当たり面積)

出典：国土交通省 都市局公園緑地・景観課「都市公園データベース」



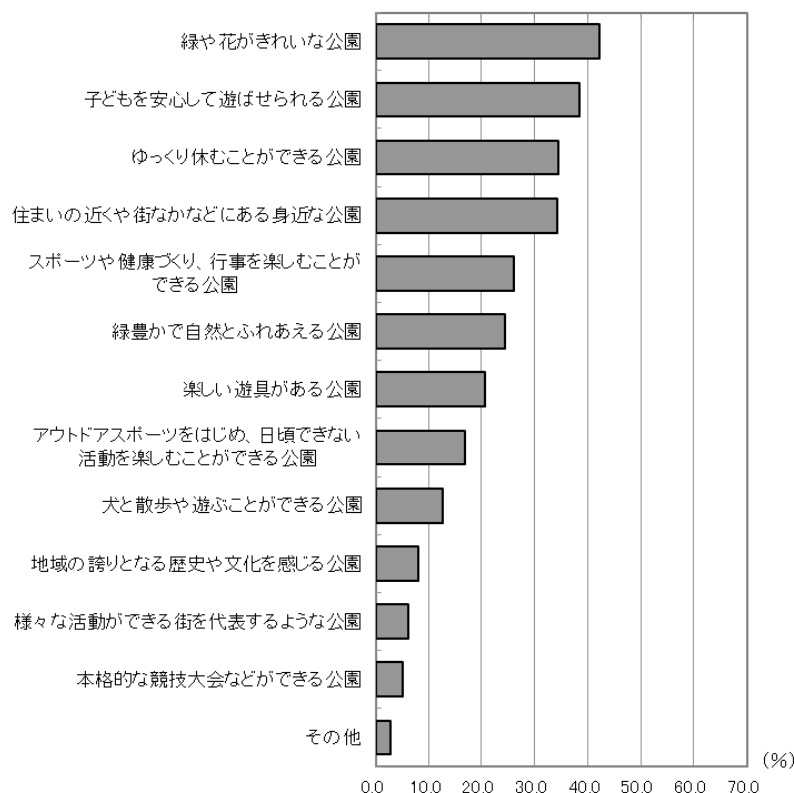
一人当たり公園面積 (㎡) の都市別比較

出典：「都市公園整備現況調査」(R元年3月)
「諸外国における公園・緑地の現況に関する調査 報告書」(H21年3月)

都市公園の現況②

○都市公園利用実態調査(令和3年度、国土交通省)では、緑や花がきれいな公園、子供を安心して遊ばせられる公園など、様々な公園が望まれている。

第10回都市公園利用実態調査(令和3年度)の結果(抜粋)



	回答率
緑や花がきれいな公園	42.2
子どもを安心して遊ばせられる公園	38.5
ゆっくり休むことができる公園	34.4
住まいの近くや街なかなどにある身近な公園	34.2
スポーツや健康づくり、行事を楽しむことができる公園	26.1
緑豊かで自然とふれあえる公園	24.4
楽しい遊具がある公園	20.7
アウトドアスポーツをはじめ、日頃できない活動を楽しむことができる公園	16.9
犬と散歩や遊ぶことができる公園	12.6
地域の誇りとなる歴史や文化を感じる公園	8.1
様々な活動ができる街を代表するような公園	6.1
本格的な競技大会などができる公園	5.2
その他	2.9
回答数(票)	41,523

図2 アンケート調査結果[欲しい公園(全体)]

○都市の緑地は、美しい景観の形成、温室効果ガスの発生や、ヒートアイランド現象の緩和、災害時における避難路・避難場所等の形成、雨水の流出抑制機能の発揮、身近に親しめる多様なレクリエーションや自然とのふれあいの場、野生生物の生息、生育環境の確保など多様な効果を有している。

都市緑地のグリーンインフラとしての23機能（効果）

ニーズ	グリーンインフラの機能（効果）
環境共生社会	1 ヒートアイランド現象緩和
	2 温室効果ガス吸収
	3 都市における生物多様性の確保
	4 大気浄化
	5 水質浄化
	6 地下水涵養
	7 環境教育、自然とのふれあいの場
	8 再生可能エネルギーの活用
安全・安心	9 都市水害の軽減
	10 津波被害の軽減
	11 大規模火災発生時の延焼防止
	12 避難地・復旧活動拠点・帰宅困難者支援
	13 災害伝承・防災教育の場
健康・福祉	14 緑の景観形成によるストレス軽減、森林セラピー
	15 子どもの遊び場・子育て支援
	16 散歩、健康運動の場、介護予防
地域コミュニティの醸成	17 コミュニティ（ソーシャルキャピタルの醸成）
	18 人の集う場、地域の活動の場
	19 地域の自然観・郷土愛の醸成
経済・活力維持	20 良好な環境・景観形成による不動産価値の向上
	21 良好な環境・景観形成による都市の魅力・競争力向上
	22 都市農業の振興
	23 観光振興

都市緑地の機能のイメージ



防災



[大国公園（神戸市）]

環境



[谷津干潟公園（習志野市）]

文化



[奈良公園（奈良県）]

都市公園のストック効果

- ①防災性向上効果
- ②環境維持・改善効果
- ③健康・レクリエーション空間提供効果
- ④景観形成効果
- ⑤文化伝承効果
- ⑥子育て、教育効果
- ⑦コミュニティ形成効果
- ⑧観光振興効果
- ⑨経済活性化効果

子育て



[千秋が原南公園（新潟県長岡市）]

観光



[鷹揚公園（弘前市）]

活力



[富岩運河環水公園（富山県）]



- 全国都市公園整備促進協議会では、全国において緑とオープンスペースの充実した質の高い都市・地域づくりが一段と進展するよう、毎年国等に都市公園の整備等に関する提言を行っている。
- 今年度は、下記の6点を具体的に国に提言させて頂いた。

- 1 地域の強靱化や防災に資する公園の整備・充実（国土強靱化の推進）
- 2 子供の健全な発育に不可欠な、子供の遊び場確保等に資する都市公園等の整備（こどもの遊び場の確保）
- 3 基幹的な社会資本である都市の緑とオープンスペースの着実な整備・充実、ユニバーサルデザイン化やストック効果の向上、デジタル技術の活用への推進（DXなど）
- 4 公園施設の安全性、防犯性の向上、バリアフリー化の推進、長寿命化計画の策定及び施設の効果的・効率的な維持管理、更新（国土強靱化の推進、人中心のコンパクトな多世代交流まちづくりの実現など）
- 5 官民連携による都市公園の整備及び管理運営を拡大（官民連携）
- 6 都市の緑地に係る広域の緑のネットワーク形成や緑地の質の向上、民間資金を活用した都市の緑地の確保（まちづくりGX）



(1) こどもの遊び場の確保など

○「経済財政運営と改革の基本方針」 (R5.6.16閣議決定)

第2章 新しい資本主義の加速

3. 少子化対策・こども政策の抜本強化

(こども大綱の取りまとめ)

子育てしやすい地方への移住や子育てを住まいと周辺環境の観点から応援する「こどもまんなかまちづくり」を推進するとともに、移動しやすい環境整備など公共交通・観光、公共インフラ等の面での気運醸成を強力に進める。

○「こども未来戦略方針」 (R5.6.13閣議決定)

こどものための近隣地域の生活空間を形成する「こどもまんなかまちづくり」を加速化し、こどもの遊び場の確保や、親同士・地域住民との交流機会を生みだす空間の創出などを行っていく必要がある。

(1) こどもの遊び場の確保など

- 都市公園は、屋外での自然とのふれあいや、集団の中で身体を動かす遊びの場を提供することで、子どもの健全な発育に不可欠な効果を有する。
- 遊びをサポート・指導する人材の育成などのソフト面も含め、優良事例の横展開が重要。

子育て支援の充実



千秋が原南公園
(長岡市)

【公園に、保育士常駐による子育て相談・交流支援、一時保育室を整備。多くの子育て世代をサポート。】

スポーツを通した子どもの育成



淡路佐野運動公園
(兵庫県)

【大規模な少年野球大会、現役野球選手による少年野球教室の開催の場となり、子供達の教育、夢を育む場として寄与。】

安全・安心な遊び場の確保



舞鶴公園
(福岡市)

【遊具の体験会等を通じて、あらゆる子どもたちがお互いの違いを理解し合い、一緒に遊べる遊具広場の整備を実施。】

環境に対する興味・関心の向上



烏川溪谷緑地
(長野県)

【溪谷の自然を守り、活かした公園で市内小学校の環境学習会を開催。多くの子供たちに体験型環境学習の場を提供。】

出典：国土交通省資料を加筆修正

(1) こどもの遊び場の確保など

- こどもの森緑地(練馬区)は、子ども達が冒険遊びや自然体験を通じてみどりの豊かさを実感することで、将来のみどりの保全や創出に関する意識の向上につなげるため、周辺に屋敷林や農地が残る住宅地に開設。
- 建物や舗装は必要最小限とし、**木登りや泥遊び、秘密基地づくりなど、子ども達が創造力を働かせて次々と新しい遊びを生み出せる場を提供する事で、子ども達の健全な発育に寄与。**

【効果】子どもの健全な育成



プレーリーダーを複数常駐させることで、子ども達がのびのびと、且つ安全に遊べる環境を実現

一日の最多来園者数 1,130人
平成27年4月26日(日)
休日平均 211人/日

【利用者の声：こどもの森アンケート欄より抜粋】

- ・子どもが工夫して遊べる。自由な発想で遊べる場所が良い。
- ・土や自然が苦手だった息子も、回数を重ねる毎に、いろいろなものに挑戦できるようになってきた。
- ・プレーリーダーは、施設管理のための管理人と違い、子どもの行動ひとつひとつに目を光らせる親とも違い、ちょうど良い距離感で子どもと付き合ってくれる。そういう人がいることに、親として安心できる。

【こどもの森の取組み】

- ①冒険遊びや自然体験により、みどりに親しむ機会を提供
- ②子どもの自由な外遊び体験の場の提供
- ③畑を活用し、農業体験の場を提供
- ④大学や企業と連携したワークショップ等を実施
- ⑤ニュースレターを通じて、遊びや運営に関する事項を周知

障がいのある子もない子も一緒に遊べる 広場づくり

東京都

- 東京都では、誰もが自分らしく輝くことのできるダイバーシティの実現に向けて、障がいのある子どもを育てる保護者や支援団体、ユニバーサルデザインに関する有識者等の意見を参考にしながら、障がいのある子もない子も一緒に遊べる広場を都立公園に整備。
- 2021年4月には、「だれもが遊べる児童遊具広場」を都内に拡充していくことを目的としたガイドライン「だれもが遊べる児童遊具広場」整備ガイドラインを策定。

背景・経緯

2018年	障害のある子どもの関係者やユニバーサルデザインの有識者などの意見を踏まえて設計を開始
2020年	砧公園「みんなのひろば」オープン
2021年	「だれもが遊べる児童遊具広場整備ガイドライン」策定 区市町村への補助創設 府中の森公園「にじいろ広場」オープン

関係主体、実施体制

東京都

取組内容

砧公園「みんなのひろば」

- 広場内に、障がいの有無に関わらず遊べる複合遊具、大型ブランコ、楽器遊具、スプリングシーソー、回転遊具などの遊具を設置。
- 視認性がよく感覚的な刺激の低い色使い、香りや手触りが楽しめる植物の植栽などにも配慮。
- 利用者へのモニタリング結果に基づき、夏の暑さ対策としてよしずを張る、入り口の扉に色を塗ってわかりやすくするなど、利用者の意見を反映した管理運営を実施。
- 広場内に、利用者と公園職員(指定管理者)のコミュニケーションツールとして専用の掲示板を設置しているほか、障がいを持つ子どもの支援団体によるアートワークショップなども開催。

■砧公園 みんなのひろば



出典:「だれもが遊べる児童遊具広場」整備ガイドライン(東京都建設局公園緑地部公園建設課)

出典:国土交通省資料を加筆修正



(2) 国土強靱化の推進

○国土強靱化政策大綱（H25.12.17国土強靱化推進本部）

①（個別施策分野の推進方針）(2)住宅・都市

密集市街地における延焼防止等の大規模火災対策、及び住宅・建築物・学校等の耐震化の目標が着実に達成されるよう、公園・街路灯の活用による避難地及び避難路の整備(中略)を実施する。

②（横断的分野の推進方針）(2)老朽化対策 インフラの維持管理・更新を確実に実施する。

○国土強靱化年次計画2023（R5.7.28国土強靱化推進本部）

1-1)大規模地震に伴う、住宅・建物・不特定多数が集まる施設等の複合的・大規模倒壊による多数の死傷者の発生

（推進方針）

住民の緊急避難の場や最終避難地、防災拠点等となる公園、緑地、広場等の整備並びに老朽化対策(老朽化した園路やトイレ等の公園施設の改修)を推進する。

○国土強靱化基本計画（R5.7.28閣議決定）

地方公共団体における個別施設計画の内容の充実を促しつつ、地方公共団体における計画的かつ効率的な長寿命化改修等を推進する。

(2) 国土強靱化の推進 (防災公園)

○都市公園には、地震災害時に復旧・復興拠点や復旧のための生活物資等の中継基地等となる防災拠点、周辺地区からの避難者や帰宅困難者を収容し、市街地火災等から避難者の生命を保護する避難地等となる防災公園があり、地域の防災に貢献している。

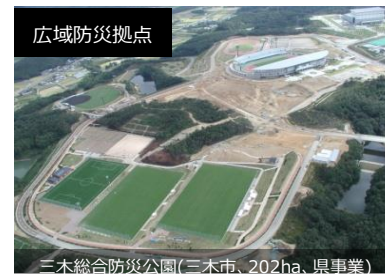
■ 防災公園の整備

○地域防災計画に位置付けられている避難地、避難路、防災拠点等となる都市公園を整備

機能区分	役割	公園種別	面積等
一次避難地 ↓ 避難路 ↓ 広域避難地	大震災等の災害が発生した場合において主として一時的避難の用に供する都市公園	近隣公園 地区公園 等	面積 2ha以上
広域避難地	大震災等の災害が発生した場合において広域的避難の用に供する都市公園	緑道 等	幅員 10m以上
地域防災拠点	主として救援救護活動の前線基地、復旧のための資機材や生活物資の中継基地となる都市公園	都市基幹公園 広域公園 等	面積 10ha以上
広域防災拠点	主として広域的な復旧・復興活動の拠点となる都市公園	都市基幹公園 等	面積 概ね10ha以上
		広域公園 等	面積 概ね50ha以上

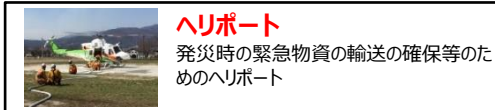
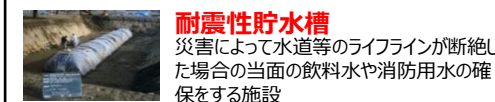
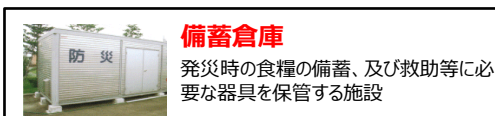
※その他、主として都心部から郊外部への帰宅者の休憩、情報提供等の場所となる帰宅支援場所がある。

(整備事例)



○災害発生時に住民が安全に避難できるよう
備蓄倉庫や耐震性貯水槽などの災害応急
対策施設の整備を推進

●災害応急対策施設の例



(2) 国土強靱化の推進(防災公園)

- 三木総合防災公園(兵庫県)は、阪神・淡路大震災の教訓をもとに、災害時に全県域を対象とする後方支援型防災拠点として、県立都市公園と広域防災センターと一体整備。
- 東日本大震災時には、被災地へ災害救援に向かう山口県消防隊員の宿泊・宿营地として活用されるとともに、中国四川大地震などの海外の災害時にも備蓄物資を搬送するなど、後方支援型防災拠点としてこれまで多くの災害発生時に機能を発揮。

Everyday

平時は優れた自然環境を活かした
県民のスポーツレクリエーション拠点



【第1陸上競技場】

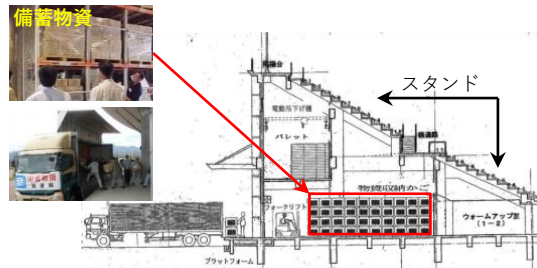


【ブルボンビーンズドーム】

Emergency

【効果】後方支援型防災拠点として機能を発揮

陸上競技場バックスタンドに大災害に備え物資を備蓄。大災害時には国内・海外に搬送。



東日本大震災時には、 α 化米5万食を搬送。
ブルボンビーンズドーム(屋内テニス場)には
山口県の応援消防隊員が途中宿営。また、
被災地向け衣料品の仕分・配送基地に活用。

More . . .

搬出日	搬出先	物資名
2007.7	新潟県中越沖地震	ビニールシート500枚
2008.5	中国四川大地震	テント200張
2009.8	台風9号(佐用町)	ボート6艇
2011.3	東日本大震災	アルファ化米50,000食、毛布10,300枚他
2011.9	台風12号(和歌山県)	仮設トイレ16基
2013.4	淡路島地震	アルファ化米3,000食、毛布3,500枚他
2013.11	フィリピン台風	紙おむつ94,292枚
2014.8	8月台風被害(丹波市)	ビニールシート1,000枚、スコップ400個他



【一層のストック効果向上に向けた取組】総合防災訓練の実施

兵庫県及び北播磨・東播磨の8市3町をはじめ、防災関係機関・団体及び自主防災組織等の約150機関が参加し、三木総合防災公園などで大規模災害を想定した実践的な訓練を実施。



(2) 国土強靱化の推進(老朽化対策)

○公園施設の長寿命化計画を策定し、効果的・効率的な老朽化対策を行っている。また、老朽化した遊具の更新を行った結果、公園利用者数が増加している。

春日山公園（滋賀県）

(公園の概要)

公園名：春日山公園

種別：総合公園

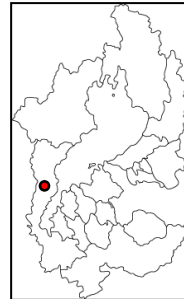
供用面積/計画面積：23.4ha/34.2ha

事業主体：滋賀県

所在地：大津市

主な施設：複合遊具、多目的グラウンド、
グラウンドゴルフ場、四阿、駐車場等
(R4年度時点)

公園位置図



公園概要図



老朽化した遊具の更新を行い、公園利用者数が増加
R1：76千人/年 → R4：100千人/年

(3) 人中心のコンパクトな多世代交流まちづくりの実現

○デジタル田園都市国家構想基本方針（R4.6.7閣議決定）

街路、公園、広場、沿道建物など（中略）一体的に修復・利活用を行う等により、多様な働き方・暮らし方に対応した「居心地が良く歩きたくなる」まちづくりを推進する。

○「経済財政運営と改革の基本方針」（R5.6.16閣議決定）

5. 地域・中小企業の活性化

（「シームレスな拠点連結型国土」の構築と交通の「リ・デザイン」）

広域的な人口・諸機能の分散と連結強化等を進め、コンパクト・プラス・ネットワークを深化・発展させ、「シームレスな拠点連結型国土」の構築を目指す。

地域生活圏の形成等に向け、中心市街地を含む地方都市等の再生や競争力強化、公園の利活用等による人中心のコンパクトな多世代交流まちづくりとその高度化、公共交通施設等のバリアフリー、通学路等の交通安全対策、道の駅の拠点機能強化、自転車等の利用環境の向上等を進めるとともに、戦略的なインフラメンテナンスの取組を加速化する。

(3) 人中心のコンパクトな多世代交流まちづくりの実現

○久屋大通公園(名古屋市)では、Park-PFIを活用した公園の再生により、開放的な空間を整備し、各種イベント等を行うなど、にぎわい、観光・交流、安らぎの空間づくりを行っている。

再整備前



園路の老朽化やバリアフリー未対応が課題



障害物による災害時の安全性も懸念



樹木が鬱蒼と茂り見通しが悪化

再整備後



主要施設間や地下とのアクセス性を向上



ゾーンごとに様々な物販・飲食・サービス施設を配置



広大な芝生広場を整備

(3) 人中心のコンパクトな多世代交流まちづくりの実現

○木伏緑地(盛岡市)では、公園内に地元飲食店を集積させるとともに、公衆用トイレや芝生広場が一体的に整備され、地域の魅力の向上や地域循環経済へ貢献するとともに、公園が歩きたくなるまちづくりの場として活用されている。



【再整備前】(平成26年ころ)
駅前だが公衆トイレがなく、樹木の繁茂により見通しが低下



【再整備後】
かつての材木水運を想起させるコンテナ風の建築により、水辺の街並みを創出



中心市街地内の貴重なオープンスペース
出典：国土交通省資料を加筆修正



特定公園施設として事業者が整備し、
市が買取した公衆用トイレ



水辺空間活用の社会実験として、
河川敷でのまちなかキャンプを実施

- 新井宿第一児童公園(大田区)では、平成24年度から「おおた高齢者見守りネットワーク」(愛称:みま～も)が協定により公園の自主管理を開始。高齢者を対象とした公園体操等の活動を通じて、商店街と地域コミュニティの拠点として活用。
- 平成26年4月には商店街やみま～も等と連携して公園を全面改修し、健康づくりが出来る器具や農業体験ができるミニ農園を整備し、地域活動の場として活用されている。

Before



【公園改修前】



After



【公園体操(ポールウォーク)の様子】

【効果】地域コミュニティの拠点の創出

公園は商店街と線路に挟まれて立地しており、利用が少ない状況だったが、みま～もによる公園自主管理活動や地元商店街の協力により、公園利用の活性化と全面改修につながった。



(4) まちづくりGX

○「経済財政運営と改革の基本方針」 （R5.6.16閣議決定）

第2章 新しい資本主義の加速 2. 投資の拡大と経済社会改革の実行

(2) グリーントランスフォーメーション（GX）、デジタルトランスフォーメーション（DX）等の加速

（グリーントランスフォーメーション（GX））

（中略）また、カーボンニュートラルポートの形成やゼロエミッション船の開発・導入、持続可能な航空燃料（SAF）等を含む船舶・航空・鉄道等の輸送分野やまちづくりGXを含むインフラの脱炭素化を更に進めるとともに、森林吸収源対策等を加速する。

○ 気候変動対応、生物多様性確保、コロナ禍を契機としたWell-being向上等の課題に 対して、緑地の持つ機能に新たな期待

気候変動対応

地球温暖化対策計画 (2021年10月閣議決定)

- 吸収源対策としての都市緑化等
(目標値)2030 年度 :124万t-CO₂
- 企業経営等における脱炭素化の促進
・TCFDの取り組み(東証プライム上場基準)

まちなかの暑さ対策ガイドライン (2023年3月環境省)

- 暑熱対策としての地表面や壁面の緑化
→緑量の多い街路樹下では体感温度が
7℃程度低減

生物多様性確保

昆明・モンリオール生物多様性 枠組(2022年12月)

- ターゲット3(30by30)
- ターゲット12(緑地親水空間)
→生物多様性に配慮した都市計画の確保
- ターゲット15(ビジネス)
→生物多様性に係るリスク等を定期的にモニタリングし、評価し、透明性をもって開示
(TNFDの取り組み)

生物多様性国家戦略 2023-2030 (2023年3月閣議決定)

- 都市地域における緑地の適切な保全や生物多様性に配慮した緑地の整備等を推進

Well-being向上

持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)

- あらゆる年齢のすべての人々のWell-beingを促進



WHOヨーロッパ地域事務局 (2017年)

- 都市の緑地が寄与するストレス緩和やリラククス効果、身体活動、住民の相互交流の促進等の機能がWell-beingの向上に重要

- ・地球規模課題に対する国際的な目標の達成に向けて、**国の政策**として取り組む必要
- ・公だけではなく、**民間による新たな緑地の創出**に期待

(4) まちづくりGX

○ 民間事業者による緑地の創出

大手町の森（千代田区）



都市開発とあわせて、歩行者や環境に配慮した開放性の高い緑地を整備。

多様な種類の植生とすること等で、多様な生物が集まり、地域の生態系ネットワークに大きく貢献。



MUFG PARK（西東京市）



地域社会への貢献の一貫として、三菱UFJフィナンシャル・グループが保有する運動場等の敷地を再整備。

グラウンドや芝生広場のほか、武蔵野の豊かな自然が保たれ、自然観察ができる樹林地を整備。



CITIZENの森（西東京市）



従業員の心身の健康に配慮した場づくりとして、工場等の敷地だった場所を緑地として整備。

武蔵野の雑木を植栽することで、地域の鳥や虫の飛来しやすい場を提供。



新柏クリニック（柏市）



“森林浴のできるクリニック”をコンセプトとして、リハビリテーションガーデン等を整備。

患者の運動療法の場、雑木林保全・活用のための活動拠点として活用。





(5) 官民連携

○「経済財政運営と改革の基本方針」 (R5.6.16閣議決定)

第4章 中長期の経済財政運営

3. 生産性を高め経済社会を支える社会資本整備

公共サービスを効率的かつ効果的に提供するPPP／PFIについて、改定アクションプランに基づき、各重点分野における事業件数目標の達成と上積みを視野に、取組を推進する。

○「PPP／PFI推進アクションプラン」 (R5.6.2 民間資金等活用事業推進会議決定)

3. PPP／PFIアクションプラン推進の目標

(2)重点分野と目標

ii)各重点分野における取組

⑧公園

公園全体での民間活用の拡大に向け、令和5年度から創設された官民連携による公園の整備・管理運営のための調査を含め、地方公共団体の取組を調査から整備まで一貫して支援するとともに、令和4年度に策定・公表した事例集やノウハウ等を記したガイドラインを活用し、横展開等を図る。(令和4年度開始、令和5年度強化)＜国土交通省＞ 23

(5) 官民連携

- 福山中央公園(広島県福山市)では、まちづくりの核の一つとして位置付けられている中央公園・中央図書館エリアの魅力向上のため、Park-PFI事業を導入し、民間事業者がレストランを整備するとともに、休憩スペースとなる四阿、高木植栽などを新たに設置。
(2021.5.1開業)
- Park-PFI事業導入にあたり、リノベーションスクール、市民フォーラムの開催、トライアルサウンディングの実施等により、新たな公園の使い方によりエリア価値を高めていく気運醸成を図るとともに、担い手となる人材を発掘、育成。

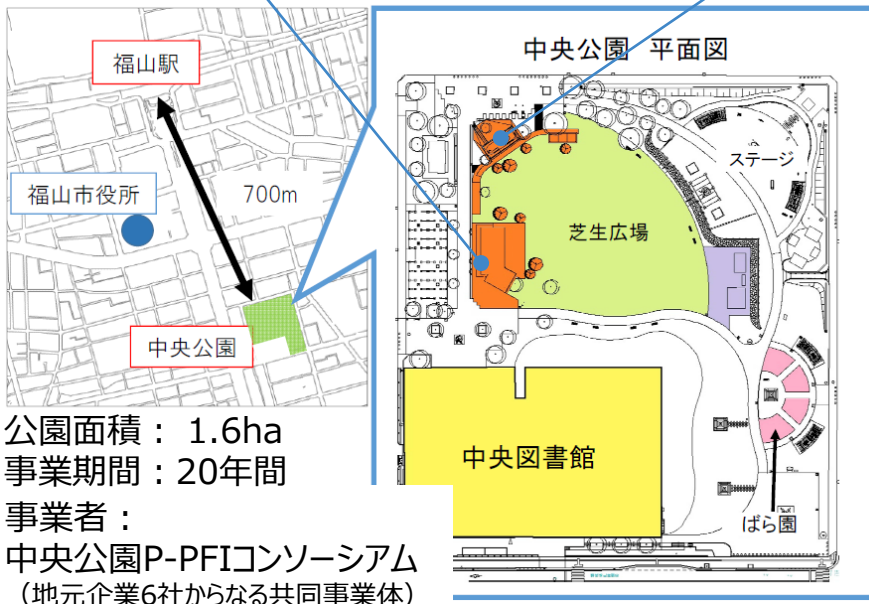
事業概要

公募対象公園施設 (収益施設)

- ・ガーデンレストラン「Enlee」
(面積291㎡、約50席)

特定公園施設 (公共部分)

- ・あずまや (2基)
- ・園路 ・植栽



ガーデンレストラン「Enlee (エンリー)」
(テラスが設置され緑を楽しみながら開放的な空間で食事を楽しめる)



休憩スペースとなる四阿
(楕円形のベンチで楽しく過ごせる)



図書館と連携した定例イベント
(マルシェ×青空図書館等)

(6) DX

○「経済財政運営と改革の基本方針」 (R5.6.16閣議決定)

第2章 新しい資本主義の加速

2. 投資の拡大と経済社会改革の実行

(2) グリーントランスフォーメーション(GX)、デジタルトランス
フォーメーション(DX)等の加速

(デジタルトランスフォーメーション(DX)、AIへの対応)

デジタル化の恩恵が広く実感できるための取組を地方公共団体、
民間事業者などと連携して進める。

- 東京都の都立公園の一部では、指定管理者が独自に開発・運用している「パークモニタリングシステム」を活用し、公園管理のDX化を推進。
- 各部署が集めた情報をスマートフォンでリアルタイムに一元化して共有するとともに、データベース化して分析することで、より効率的で高品質な管理運営を実現。
- 公園管理を現地で担うスタッフが中心となって開発・運用することで、常に現場の状況に応じた改善・更新が可能。

背景・経緯

- 効率的で適切な公園管理のため、自主事業費を活用して開発。
- 指定管理者の本部と現地スタッフの両方が所属するパクモニアプリチームを創設。
- トライ＆エラーを繰り返しながら開発をすすめ、2020年度より各種日報・月報との連携を実現。

<本システムを導入している都立公園グループ>

- ・「狭山丘陵」グループ
- ・「武蔵野の公園」グループ
- ・「多摩部の公園」グループ



取組内容

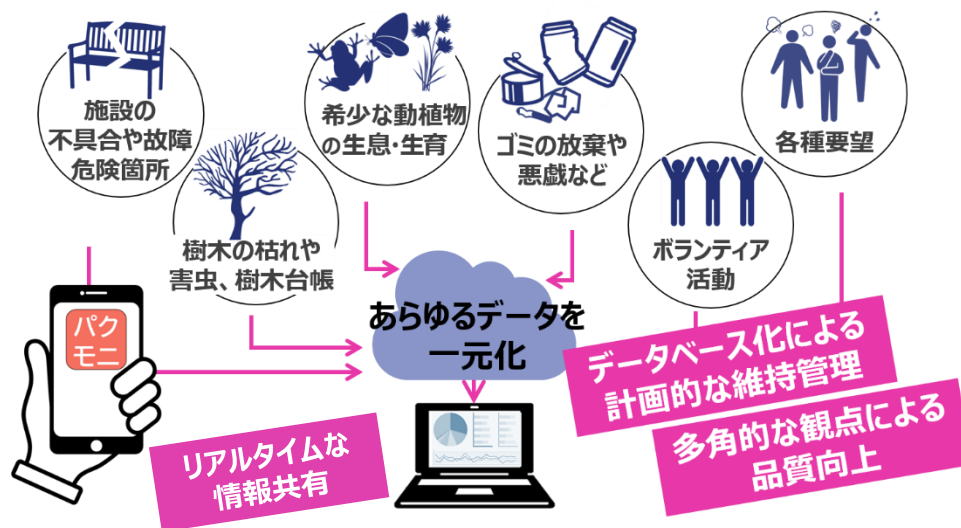
【あらゆるデータを一元化し、データベースに蓄積】

【緊急時にもグループ間でリアルタイムの情報共有が可能】

維持管理での活用

生物多様性での活用

利用者サービス向上での活用



船橋市の取り組み (船橋市とは)

千葉県西部、東京から20km圏に位置する船橋市



船橋市の取り組み（船橋市とは）

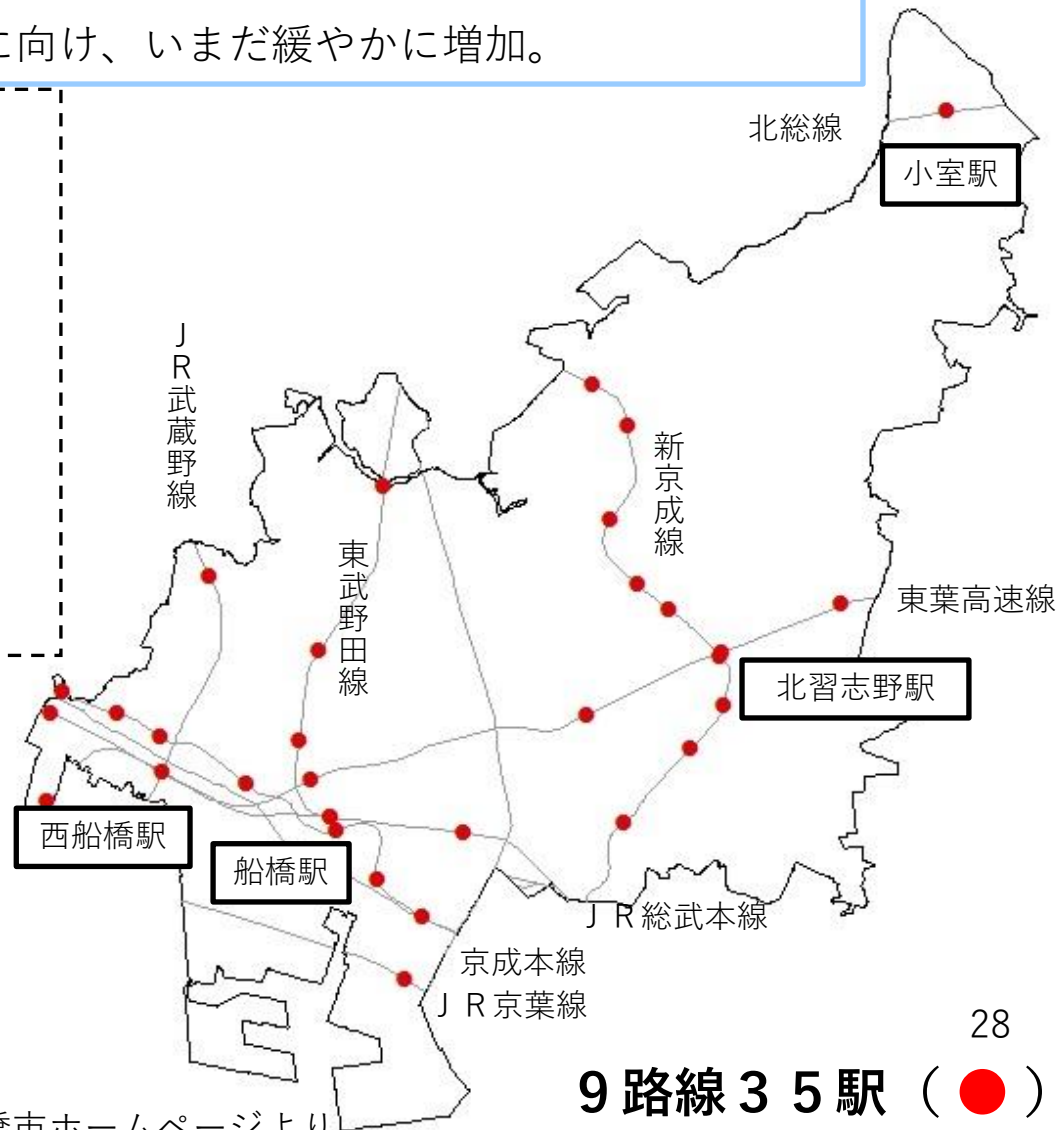
- 9 路線 3 5 駅の発達した鉄道網によって高い利便性を維持。市内の西船橋駅、船橋駅の乗降者数はそれぞれ、JR東日本エリアで15位（県内最多）、17位であり、有楽町駅（20位）を上回る。
- 人口は、2033年（令和15年）のピークに向け、いまだ緩やかに増加。

- 面積 約 85.6 km²
（うち 市街化区域：55.1km²）
- 人口 約 64 万 8 千人
（政令指定都市を除くと最多）
- 市制施行 1937年4月1日（S12）
- 特徴
東京から近距離
（通勤者の4割弱が東京区部で働く）
都市と自然のバランス
（海～工業地～商業地～住宅地～農地）



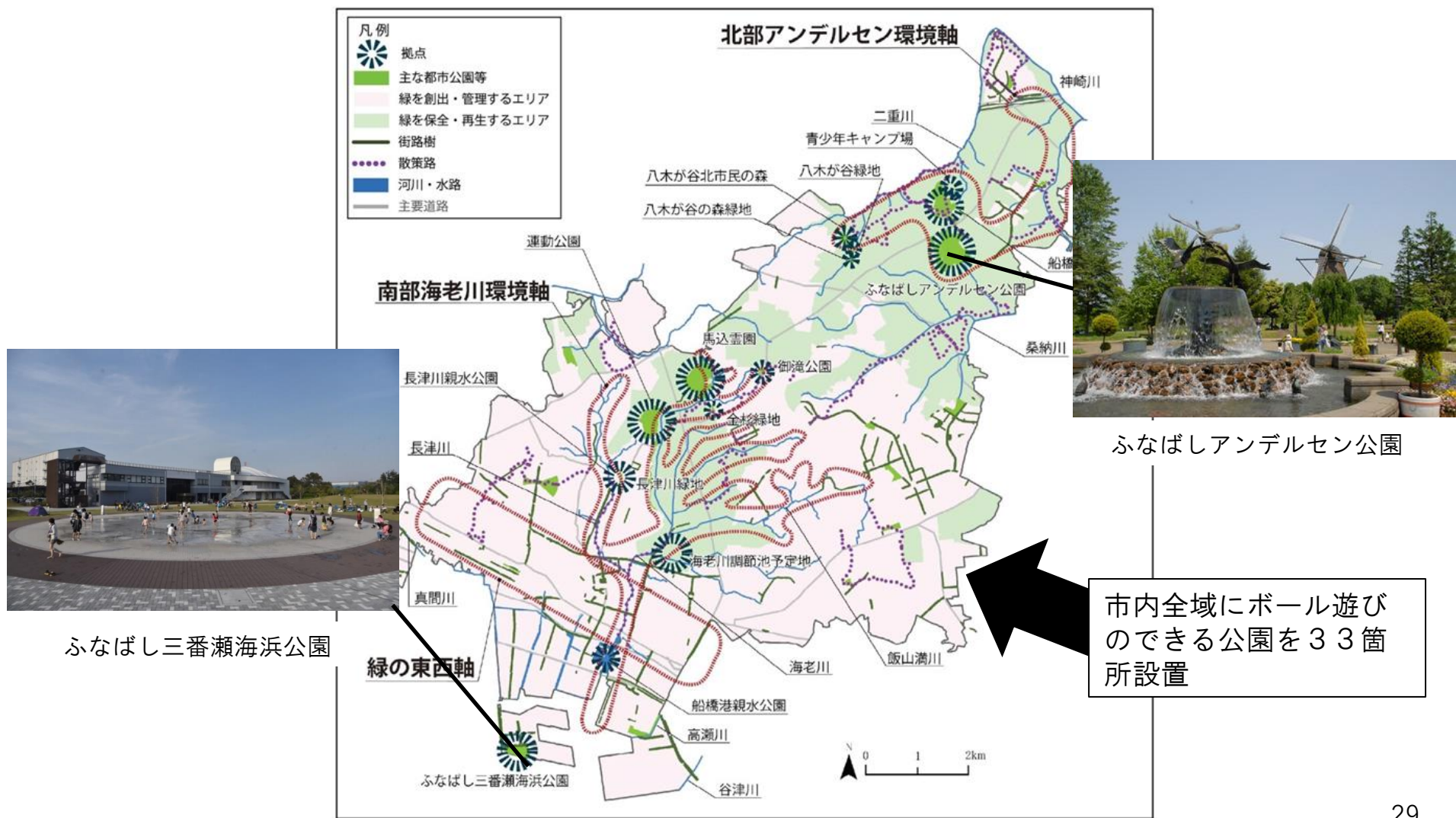
船橋市における人口の将来推計

出典：船橋市ホームページより



9 路線 3 5 駅（●）

○「緑の基本計画」（平成29年3月）に基づき、市域に水と緑のネットワークを形成し、緑地や公園等の整備、保全等を行っていく。





○ふなばしアンデルセン公園は、近年の年間入園者数が約80万人（過去最高（H27年度）90.5万人）。「日本のテーマパーク部門」で第3位（H27：トリップアドバイザー）となって以降、人気が続き、本年9月、27年目（1996年10月オープン）で累計入園者数1500万人を達成。

○こどもの遊び場の確保、環境、観光など様々なニーズに対応。

【こどもの遊び場の確保】



【アート】



【観光】



【環境】

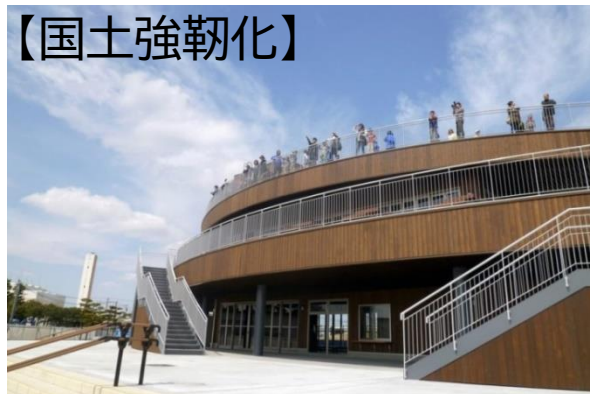


- ふなばし三番瀬海浜公園は、三番瀬の魅力を活かした自然体験・環境学習の場として平成29年7月にリニューアルオープン。
- 園内の環境学習館は、全国で使用されている2社の教科書（小学校6年生理科）に掲載されている。
- 三番瀬干潟の健全な保全を図るとともに、環境学習館での三番瀬の環境学習を行っている。環境学習館は津波一時避難施設として防災性の向上、国土強靱化の推進を図っている。

【環境】



【国土強靱化】



船橋市の取り組み（ボール遊びのできる公園）

- 2014年度に市長と中学生が船橋の将来を語り合う「こども未来会議室」において、「ボール遊びのできる公園をつくる」という提案を受け、2015年度に有識者、市民代表等で構成する「船橋市ボール遊びのできる公園検討委員会」を開催。
- 2016年度からボール遊びの試行と検証を市内5公園で実施し、ボール遊びができる施設やルールを整理した上で、2019年度から本格実施。
- 現在は33施設を指定し、こどもの遊び場を確保するとともに、周知活動を実施。

背景・経緯

2014年度	「こども未来会議室」において中学生から市長へ「ボール遊びのできる公園をつくる」ことを提案
2015年度	「船橋市ボール遊びのできる公園検討委員会」設置 試行事業実施を提言
2016～ 2018年度	5公園でボール遊び試行 近隣住民や中学生へのアンケート調査実施
2019年度 ～	試行事業の結果を基にボール遊びが可能な公園を抽出し、本格運用を開始

取組内容

【試行事業】

- 公園の形、広さ、施設の状況等が異なる5公園でのボール遊び試行、近隣住民や中学生へのアンケート調査し、下記の事項を検証

【検証項目】

- 利用する子どもの年齢層、遊び方
- ルールやボール遊びの範囲を決める要因(年齢、広さ、施設状況、周辺状況、遊び方、利用方法)
- 公園に合ったルール設定(ボールや遊びの種類、利用方法)
- 広さ、防球施設の状況、周辺状況、利用状況による比較検討

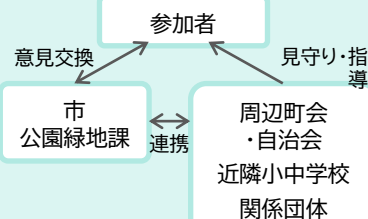
関係主体、実施体制

船橋市ボール遊びのできる公園検討委員会

- ・有識者
- ・自治会関係者
- ・スポーツ関係者
- ・青少年、PTA関係者
- ・市の関係部署

提言
結果のフィードバック

試行事業



○緑豊かなまちづくりを推進するため、緑の基本計画に基づき、市民と行政が連携してできる緑化の施策について意見を述べる場として、新たに「緑化推進委員会」を設置。

緑化推進委員会の成果

花苗サポーター事業



登録した市民に種や必要資材を配布
できた苗を公共施設に納品
委員会の意見により事業が発足

花壇コンテスト



個人や団体が管理するまちなかの花壇のコンテストを開催、優秀者を表彰
参加者を増やすための意見を提供

ふれあい花壇事業



公園等に花壇を設置し、市民団体等が管理を実施
他の事業との連携など、今後の事業展開を委員会で提言

町会等清掃委託制度



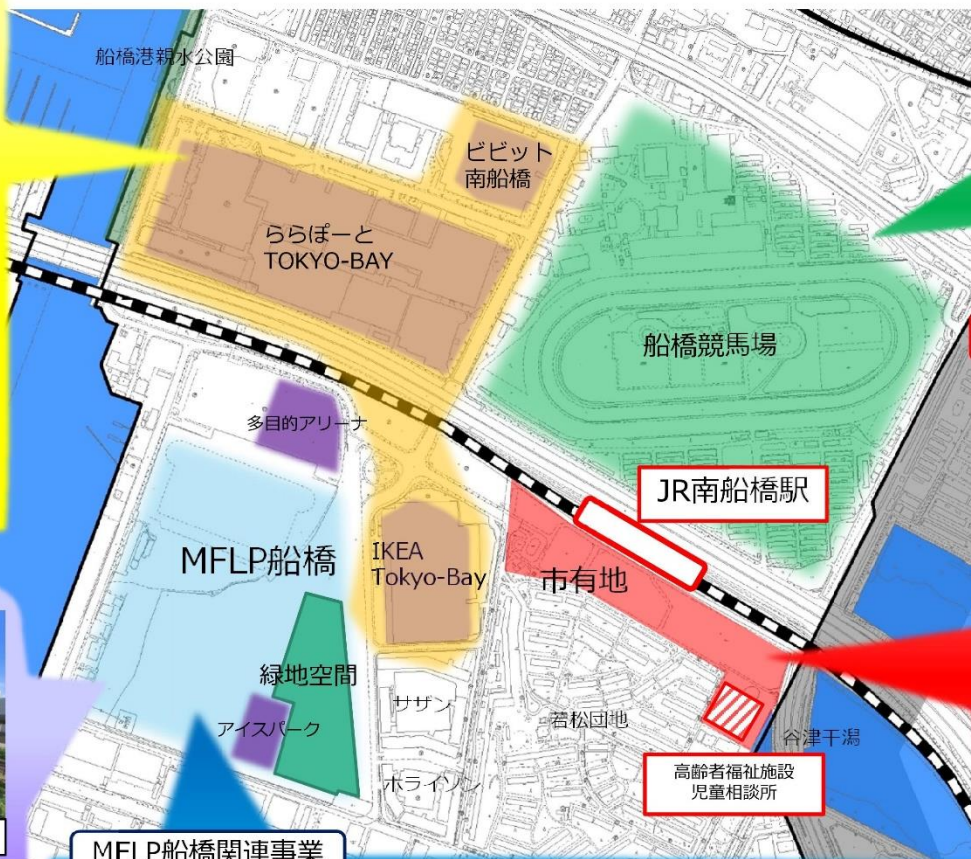
身近な公園の清掃等管理を町会などの団体に委託、管理委託箇所を増やすための意見を提供

船橋市の取り組み(官民連携・まちづくりGX)

既存大型商業施設群



スポーツ施設群



MFLP船橋関連事業



船橋競馬場リニューアル事業



JR南船橋駅南口市有地活用事業



○地域のイベント・レクリエーションなどにぎわい確保の場となる駅前の緑地を民間が整備・管理するとともに、イベント等も実施予定。市民緑地認定制度を活用。



- ・ 面積：4,989.72㎡
- ・ 設置予定日：令和5年11月29日
- ・ 管理者：三井不動産（株）



市民緑地イメージ



都市公園制度制定150周年
150TH ANNIVERSARY

- 令和5年(2023)年は、明治6年(1873)年1月に発せられた太政官布達16号から150周年を迎える記念の年にあたる。
- 令和5年1月から12月の1年間を対象に、都市公園に対する関心の喚起等を図るため「都市公園制度制定150周年」のPRとなる取り組みを実施した。

5月13日(土)・14日(日) 緑と花のジャンボ市にて



都市公園
制度制定
150周年
記念



イベントや窓口で花の種を配布

「都市公園150年のあゆみ」を展示

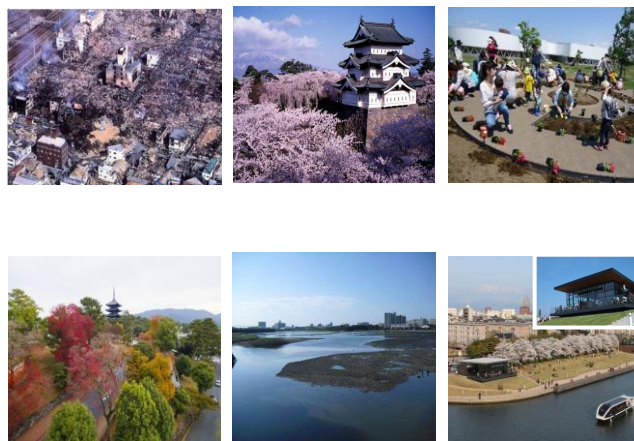
風船にプリント

みどりの持つ多様な機能や効果を一層活用し、近年の公園に求められる新たなニーズに対応する公園の整備・管理を進めるなど、引き続き、国、地方公共団体、民間が連携して、さらなるみどりの確保を進めていく。

【新たなニーズ】

- こどもの遊び場の確保
- 国土強靱化の推進
- 人中心のコンパクトな多世代交流まちづくりの実現
- まちづくりGX等

【公園の有する多様な機能】



【新たな手法】

- 官民連携
- DX等

さらなるみどりの確保

